



学校だより

令和元年 10月8日
発行 校長 佐藤昌俊

避難所運営訓練行われる

令和元年9月29日(日)10:00から常葉中学校体育館で諏訪小学校・常葉中学校震災時避難所運営委員会が主催する訓練が行われました。この訓練は汐入ハイム、小川町、大滝町、若松町、日の出町の町内会・自治会の方々が震災時に諏訪小学校・常葉中

学校で避難生活をしなければならない状況になったときのための訓練として行っているものです。

当日は雨天のため、グラウンドコンディションがあまりよくなく、体育館での集合となりました。実際の場面ではまずはグラウンドに集合していただき、体育館の安全確認後に体育館に入る形をとります。これを第1訓練として行いました。総勢100名を超える人数の方々の参加となり、町内会・自治会ごとに集合し、被害状況の把握や「避難者カード」の記入など、実際に想定して行いました。これを第2訓練としました。学校は施設管理者としてこれらの情報を災害対策本部に伝えるという役割をもっています。

第3訓練は、避難所を運営するために重要な組織を編成することを主眼とした内容で行いました。まずは各町内会・自治会をもとにした「避難者班」を編成し、各避難者班から選定されたメンバーによる「活動班」を編成します。それぞれの班にはその班のリーダーとなる班長を選出します。活動班の班長、委員長、副委員長により「避難所運営委員会」という組織が編成され、避難所の組織的な運営をしていくことになっています。訓練では



このような組織編成が具体的にシミュレーションとして行われました。

その後、携帯トイレ、発電機による照明器具等の扱い方の訓練や「アルファ化米」の試食も行われました。「アルファ化米」は一定量のお湯を注ぐと、ごはんとして食することができるもので、当日はカレー味のごはんでした。思った以上に美味しく、思わず“おかわり”をしてしまいました。

実際に本校が避難所になるようなことが起こらない方がよいに決まっていますが、災害はいつ何時に襲ってくるかはわかりません。しっかりとした準備が必要であると改めて思いました。そして避難所では中学生はどんな役割を果たせるのかなど、様々なことを考えるよい機会となりました。

英語の授業 諏訪幼稚園の園児と共に

令和元年9月27日(金)に、本校のケニー先生(FLT: Foreign Language Teacher)が諏訪幼稚園の園児に英語に親しんでもらおうと30分程度の時間をいただきました。ケニー先生は英語の教員として横須賀市教育委員会が配置しているネイティブスピーカーの先生です。



園に行くとき、園児たちは教室でケニー先生が来るのを待っていてくれました。私も一緒に伺い、教室に入る時に「こんにちは」と声を掛けました。園児たちから返ってきたあいさつは「ハロー！」でした。もうすっかり英語を学ぶモードになっていて驚きました。ケニー先生が、いつも通り英語であいさつをすると、同じように英語で返ってきます。子どもの順応性の高さにはいつもながら頭が下がる思いです。

外国につながる園児の一人が、私には聞き取ることができないほど流暢な英語でケニー先生に話しかけます。“水を得た魚のように”という言葉がぴったりのように。少なからず普段の園での生活では母国語を通してコミュニケーションを取ることが満足にできないもどかしさがあるのでしょうか？本当にうれしいようにケニー先生に話しかけていた姿が印象的でした。

ケニー先生はドラえもんやミッキーなどのキャラクターをホワイトボードにとても簡単に書いて、園児たちをひきつけます。私には残念ながら描けません。絵を使いながら園児たちに英語で質問します。もちろん身振り手振りを加えながらですが、こんなに小さな子どもたちとでも英語使ってコミュニケーションが取れるものなんだと、またまた驚きです。



本校は田戸小学校、諏訪小学校とで小中一貫教育を進めています。いかに子どもの学びを小学校と中学校でつなぐかということテーマに合同の授業研究会などを通して3校の教員が一同に会して行っています。そしてさらにその枠組みを広げて、諏訪幼稚園ともこのような交流活動を行っています。体育祭では諏訪幼稚園の園児と保護者の皆様がかわいいダンスを披露してくださいました。中学生も手拍子で盛り上げていました。見ていてとても心が和み、温かい気持ちになりました。園児たちにとっても本校の中学生にとっても有益となる取組をこれからも行っていきたいと思います。

体育祭、応援ありがとうございました。

9月14日(土)の体育祭には多くの保護者の方の御来校をいただき感謝申し上げます。取組期間にはとても暑い日もあり熱中症にもご心配をいただきました。本校では重篤な熱中症はありませんでしたが、体調不良を訴える生徒はありました。次年度の体育祭に向け、開催日を現状より1、2週遅らせることも検討していきたいと考えています。